

2020年11月2日

日本機械学会関東支部栃木ブロック行事

栃木ブロック研究交流会実施報告書

1. 実施日

2020年10月24日(土) 13:00～16:40

2. 会場

Zoomを用いたオンライン開催

3. 参加者数

約40名(発表者19名)

4. 内容

栃木県内の機械工学系大学・高専(足利大学、小山工業高専、宇都宮大学、帝京大学)の学生を主体とした研究交流を目的として、オンライン会議形式での研究発表会を帝京大学理工学部機械・精密システム工学科の教員が幹事として実施した。

昨年までは、帝京大学宇都宮キャンパスを会場としたポスター形式の研究発表と、企業技術者による特別講演会を行ってきた。しかしながら、今年は新型コロナウイルスによる影響で、当初は対面でのポスター発表が出来ないため中止することも検討したが、学生の発表の機会を奪うべきでないとの意見が多く寄せられ、また各大学からの発表予定件数も多くあり開催を期待する意見が多数となり、Zoomを用いたオンラインの発表形式での開催を決定した。

発表当日までにプログラムと予稿集が参加者に送付され、広報担当からはZoomでの接続テスト含めた会議通知と聴講および講演要領を送付し、初のオンライン開始に対して準備を行った。

当日の研究発表は19件(足利大1件、小山工業高専5件、宇都宮大3件、帝京大10件)で、昨年の27件よりは少ないものの、発表者を中心に活発な討論が行われた。

なお、心配された通信の不具合も一部で発生したものの、座長が発表順序を入れ替えることで対応したため大きなトラブルとはならなかった。

発表後に栃木ブロック長篠竹先生(帝京大学)からの締め挨拶をいただき、翌年度には通常対面でのポスター発表と特別講演会での再会を誓う言葉で本研究交流会を終了した。

<https://www.jsme.or.jp/kt/tochigi/2020/newkeikaku.html>

報告者: 帝京大学 加藤彰